ワンポイント

広く利用されている放射

し仮定して、先ず①航空

、約六百m圏

るように校正されてい

9

すい」と反対する人 計は低い数値が出や 被ばく線量(個人線 線量計で測定された は、 被ばく線量の評 は、「帰還後の住民の 量と定義する)を用 いますが、「個人線量 いるべし」と述べて 原子力規制委員会 胸につけた個人 (二〇一三年九月五日)

計」って本当ですか。 低く出やすい個人線量 タクさん 毎日新聞

近いのです。

②屋内外の滞在時間(屋

避難者を安心させる…」 量計のデータを集めて が低く出やすい個人線 討チームを設置。空間線 の帰還を促すための検 は先月二十八日、避難者 量の推計値に比べ、数値 に、「原子力規制委員会

ゆりちゃん

|数値が

ていました。でもこれは

や家屋の遮蔽率を一律

後に③三百六十五日を

サーベイによる実測値

タクさん

航

空 機

ている実効線量により せん。個人線量計の値の 出やすい」のではありま 明らかに間違いです。 万が、実際に個人が浴び へ線量計は「数値が低く 線 30 分(Y)を計算。 引いて事故による上昇 然寄与分(〇・〇四マイ 線量率の実測値(X) クロシーベルト) を差し から一時間当たりの自 機サーベイによる空間 次に

家屋や滞在時間など 反映した「場の線量」

という記事が掲載され て下さい。内閣府原子力 被災者生活支援チーム 詳しく教えて下さい。 量」の求め方をもう少し は、住民の生活パターン タクさん 図1を見 ゆりちゃん 「場の線 外八時間、屋内十六時 日(二十四時間)当たり 等による低減係数(一~ 間)、および家屋の遮蔽 の被ばく線量を計算。最 合〇・四) を考慮して 一階建の木造家屋の場 て下さい。

図1 空間線量率に基づいてその地域に住む 人達の平均的な被ばく線量を推定する方式

原子力発電所事故による 空間線量率の上昇分 Y=(X-0.04)µSv/h 航空機 自然 屋内は、建材による遮蔽、床下に汚染 がない→線量率が低い:低減係数0.4 が 航空機 サーベイ による 実測値 放射性物質 亚 原子力発電所事故による追加被ばく線量(1年間)計算式 Y×8時間(屋外滞在時間) + × 365日 Y×0.4(低減係数)×16時間(屋内滞在時間)

ます。さらに、 ありません。ま 表すものでは 個人によって た、滞在時間は へきく変化し 減係数は家

量」と「個人線量」に違 ています。 の線量」を推定・評価し 掛けて一年間累積の「場 ゆりちゃん 「場の線 ンガ造り)によって大き は無理があります。もう 屋(木造、ブロック、レ く変動します。これらを 律と仮定することに 構築」の重要性がさらに 被ばく管理システムの 実効線量が測定できる 高まることでしょう。

の被ばくに用いられる

るのです。住民の本格的 が、数値的には表示され 効線量」に相当する線量 通では測定できない「実 によって偶然ですが、普 では、人の体の遮蔽効果 在の福島地域の環境中 ウムが広く分布した現 るのですが、放射性セシ

な帰還に備えて「放射線

サーベイと同じように 線量計は本来、航空機 れる線量概念」参照)。 ス」第五十五巻・第二号 (原子力学会誌「アトモ 放射線防護に用いら

空間線量率」を測定す (原産協会•人材育成部

被ばく線量を ので、個々人の 平均化したも 内の測定値を

いが生じる理由を教え 一つ大事なことは、個人